

# 青森県総合社会教育センター運営協議会（令和３年度第１回） 議事録（要旨）

## 1 日 時

令和３年６月２日（水曜日） １３時３０分～１５時３０分

## 2 場 所

青森県総合社会教育センター４階 第２教材開発室

## 3 議 題

### (1) 令和３年度事業計画について

ア 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業

イ パワフルAOMORI！創造塾

ウ あおもり家庭教育力向上事業

エ 家庭教育支援動画制作普及事業

オ あおもり県民カレッジ運営事業

### (2) 総合的な意見交換

## 4 出席者

〔委 員〕（敬称略）

小山田委員、秋田委員、高橋委員、阿部委員、中川委員、沼田委員、勝野委員、小関委員、蛭澤委員

〔県総合社会教育センター〕

大館所長、松谷副所長、工藤総務課長、副田育成研修課長、佐藤教育活動支援課長、田中総務課副課長、對馬育成研修課副課長、阿部教育活動支援課副課長

〔豊かな学びを育む青い森グループ（指定管理者）〕

黒滝事務局長、木下学習支援グループ主任

## 5 議事録

※議事に先立ち、所長より挨拶があった。

※その後、議長及び副議長の選任を行い、議長に勝野委員を、副議長に阿部委員を選任した。

### 《議題(1) 令和３年度事業計画について》

※事務局よりア・イの事業について説明

#### 【委員】

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業に参加した大学生が社会人になって、その社会人からキャリアサポの大学生が学ぶという方法もあるのではないか。

#### 【事務局】

現状では、キャリアサポを経験した大学生が卒業後にOBとして関わることはないが、励ましの言葉やキャリアサポの様子を見に来ることはある。キャリアサポで培った力が社会に出てから様々な所で生かされているという話は聞いている。そういった方を活用するという意見を参考にしたい。

#### 【委員】

キャリアサポを経験した社会人をキャリアサポの事業に活用するほかに、パワフルAOMORI！創造塾の塾生として声がけしてみればどうか。

**【事務局】**

今年度の塾生候補の中に何人かキャリアサポ経験者がいる。キャリアサポ経験者からパワフルAOMORI！創造塾塾生への連鎖ができれば良いと思っている。

**【委員】**

県外の方も含めた講師の選定について、工夫している点があれば教えてほしい。

**【事務局】**

インターネットや書物で検索したり、他の事業で依頼した講師を別の事業でも活用できないか検討したりするなど、各事業の主旨に合った講師を選定している。

**【議長】**

キャリアサポの参加校が、令和元年度は23校あったと思うが、令和3年度は14校と減少している。参加校が減少した理由は何か。

**【事務局】**

新型コロナウイルス感染症の影響もあると思うが、参加する学校の事情もあり、減少している。

**【委員】**

キャリアサポの資料の中で、今後に向けての課題として、『大学生との連携を強固にし、』とあるが、そのためにどのような工夫をしているか。

**【事務局】**

大学生が連携を強固にするというのは、今後大学生の集団が独立して、最終的に社会教育センターの手を借りずに自らが事業を実施していく、ということを想定しており、実際にキャリアサポに参加している大学生が「キャリアサポ連合」という組織を作って、キャリアサポの事業を支える他にイベント等を開催する等して活動している。当センターとしては、この「キャリアサポ連合」とも連携を強化し、さらなる大学生のスキルアップを図っている。

**【委員】**

キャリアサポの卒業生が、県内・県外のどちらに就職しているか等の追跡調査は行っているか。

**【事務局】**

追跡調査は行っていない。キャリアサポを体験した高校生が大学生になって、今度はキャリアサポを実施する側として参加している学生がどのくらいいるかも含め、追跡調査を行うかどうか、今後考えていきたい。

**【委員】**

パワフルAOMORI！創造塾の卒塾後の活動について調査しているか。

**【事務局】**

全員に対しては調査していない。卒塾生の活躍について聞こえてきており、塾生募集の際の宣伝効果にもなると思うので、調査について考えてみたい。

**※事務局よりウ・エの事業について説明**

**【委員】**

あおもり家庭教育アドバイザー派遣について、町内会単位で依頼しても引き受けてもらえるか。

**【事務局】**

引き受け可能である。依頼者の要望にできる限り応えるよう、派遣している。土日でも対応できる。

**【委員】**

過去にあおもり家庭教育アドバイザー養成講座に参加した。出産したことをきっかけに、子育ての壁にぶつかり、家庭教育を学びたいという思いから受講し、とても貴重な体験が出来た。この事業の課題にもあるように、受講終了後、あおもり家庭教育アドバイザーとして登録しても、地域で活躍するための実践の機会が少ないので、熱意があるうちにそういった機会を差し伸べてくれば、子育てに悩んでいる方への手助けにもなると思う。

あおもり子育てネットのチラシには、5つの子育て動画が見られるQRコードが掲載されており、自分の職場でもポスターを掲示しているいるが、このQRコードにスマホをかざしている人を見たことがない。QRコードタイプがこれからの時代にマッチングしているか、検討の余地があると感じる。

また、子育て中のお母さんは忙しく、動画を見ている時間はないので、これからママになる方に見てもらい、子育てに行き詰まった時に思い出してもらおうよう、産婦人科にもチラシの配布をしてはどうか。このほか、大学生にも子育てに興味をもってもらいたいので、将来パパになる男性も含めた学生にも配布してはどうか。

**【事務局】**

あおもり家庭教育アドバイザーが活躍する機会について、生涯学習フェア等あらゆる機会をとらえて提供していきたい。

あおもり子育てネットのチラシの配布先については、いただいた意見を検討し、実現につなげていきたい。

**【委員】**

子育て中の若いお母さんは、インスタグラム等SNSしか見ない方が多いので、SNSの広告スペースから子育て動画にリンクさせる等、情報を届けたい方への効果的な周知方法を工夫してはどうか。

**【事務局】**

実現できるよう検討したい。

**※指定管理者よりオの事業について説明****【意見なし】****《議題(2) 総合的な意見交換》****【委員】**

説明資料を作成するに当たって、家庭教育アドバイザーの登録者数やホームページのアクセス数等、具体的な数字を入れた方が数値の変化が分かり、資料がもっと見やすくなるのではないかと。

**【事務局】**

ご指摘いただいた点について、今後そのようにしたい。

また、第2回運営協議会では今年度の実績を報告するので、具体的な数字を資料でお示ししたい。

**【委員】**

県民カレッジ事業について、講座はすべて対面で行っているが、オンラインでの実施もあった方がよいのではないか。

**【事務局】**

今年度実施予定の生涯学習フェアや子どもイベントでは、県内の別の場所にスクリーン会場を設けて、オンラインでの配信が出来るか、検討している。

**【委員】**

社会教育センターに来たのが初めてで、こちらでどのような事業を実施しているか、ひとつお理解してから、あらためて意見を述べたい。

※以上により議事終了